



とねしょうかわらばん

2月13日版

【1年生 算数 時計の読み方】

時計は普段の生活には欠かせないものです。1年生にとっては長い針と短い針の関係をしっかり理解し、普段の生活に役立たせなければなりません。

この授業では、学習した時計の読み方について iPad を利用して友達と確認しながら、国語との合科的な学習をして

いました。「1時57分」を指す針をみて「2時」と答えてしまう子どももいます。なぜ「2時」ではないのか、「短い針がきっちり2を指していないから」と子どもたち同士で確認をしていました。次に教師が「1時57分」を示して「だいたい何時？」と発問。子どもたちは「だいたい2時」と確認。同じ時刻でも普段生活で使う日本語の表現方法によって違いがあるということ子どもたちは学習できたようです。



【5年生 総合「米作り」】

1 学期の田植えから始まった「米作り」もいよいよ大詰め。

2月6日と2月10日に、収穫した「刀根山米」を炊き、お

味噌汁を作ってみみんなで収穫祭をしました。今回も地域のボランティアの方々にお世話になりました。「刀根山米」は無農薬で、一般の米と味がどのように違うか、家庭科専科教員が炊いた一般の米との食べ比べもしました。やはり、自分たちが地域の方々に助けていただきながら育てた「刀根山米」の味は格別だったようです。



【4年生 理科「すがたをかえる水」】

4年生の理科の実験です。ビーカーの水が温められるとどのような変化が起きるのか、ガスコンロでビーカーの水を温めながらグループで学習していました。沸騰すると湯気が出

ます。湯気にガラス棒を近づけた子どもに教師が「どうなった?」。子どもが「水が付いた!」。水のすがたの変化に気づいた瞬間でした。

